

ものと人間の文化史最新刊!

はじめに

第一章◎相撲史概説

第二章◎相撲を取る人々

第三章◎相撲興行に携わる人々

第四章◎さまざまな相撲

第五章◎相撲を取るための「もの」

第六章◎観客のための「もの」

第七章◎興行の空間



相撲

土屋喜敬 [著]

四六判/298ページ/上製/定価:2,700円+税

ISBN978-4-588-21791-3 C0320

2017年04月刊行

最新刊

「土俵際」「軍配があがる」など、私たちの生活に身近な相撲由来の言葉は多い。明治時代にスポーツとなる以前、相撲は歌舞伎と同じく芸能として親しまれていた。1500年にもわたるその歴史を、力士や興行者など当事者だけでなく、土俵やまわし、櫓といった関わりのある物、祭りや遊戯、文学ほか、あらゆる角度から多彩に描きだす。相撲博物館の協力により図版多数。

一般財団法人

法政大学出版局

Hosei University Press

〒102-0073東京都千代田区九段北3-2-3
3-2-3 Kudankita, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-0073,
Japan

ご注文は下記まで。

Fax. 03-5214-5542

相撲

ISBN978-4-588-21791-3 C0320

2017年/四六判/298頁

定価(本体2,700円+税)

2017年4月刊行

ご芳名

お電話番号

()冊

帖合・番線